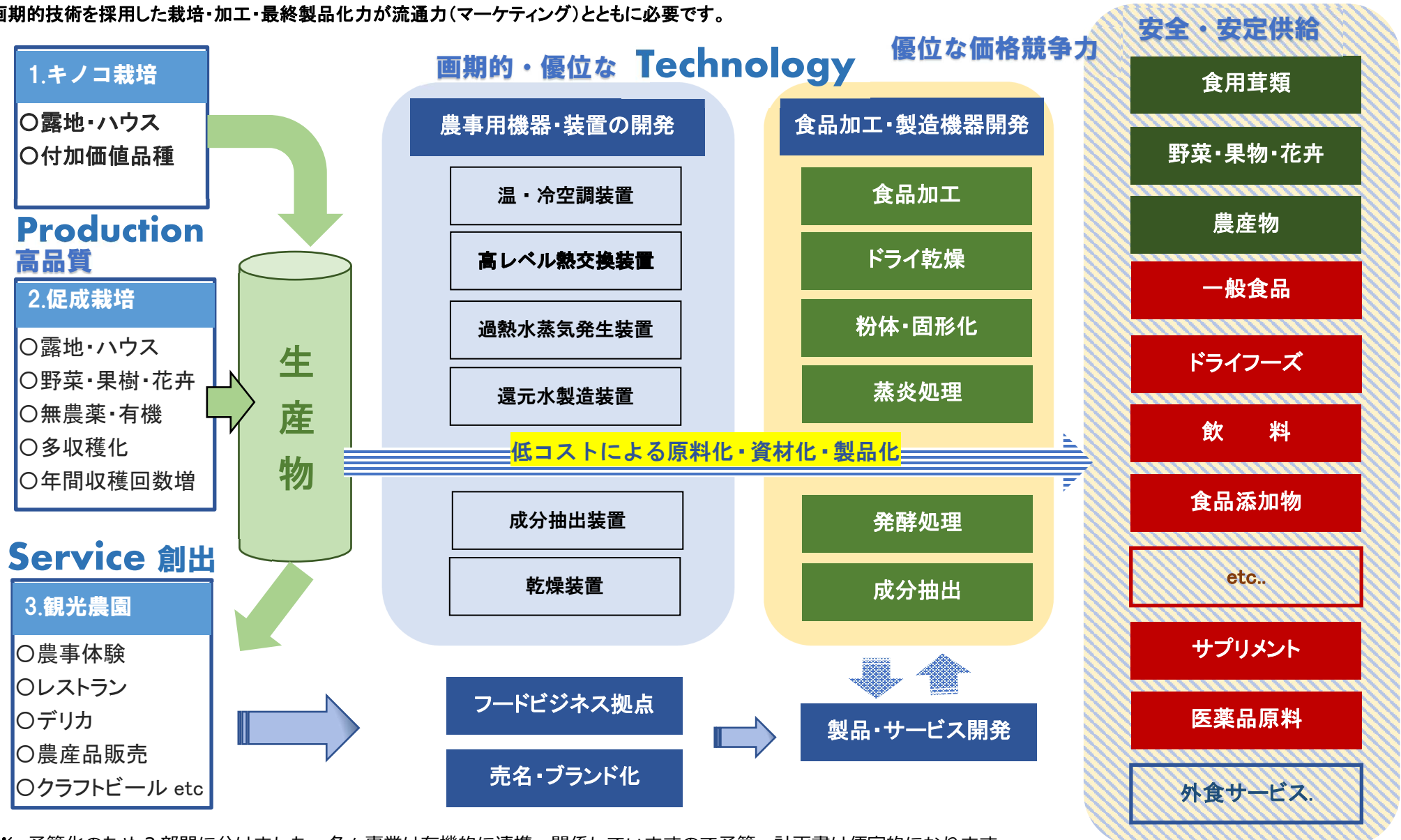


## ■農業 6 次化を基本とした構想

日本の農業は岐路に立っています。温暖化、農業の多用、自給率、TPP、FTA、諸外国との競争、生産性・生産力、規模拡大の構造的・物理的問題、労働力・後継者問題、等々・数えきれません。海外輸入品や大手事業者に対抗できる農事経営・システムを考えなければなりません。限られた物理的環境の下、農事ビジネスを展開するには画期的技術を採用した栽培・加工・最終製品化力が流通力（マーケティング）とともに必要です。



※ 予算化のため 3 部門に分けました。各々事業は有機的に連携・関係していますので予算・計画書は便宜的になります。